

ごあいさつ

委員長 堀田 理恵

山形県PTA母親委員会の活動を皆様に支えていただき展開できましたこと、心より感謝申し上げます。また、各郡・市PTAの母親委員会におかれましても活発に活動していただきありがとうございました。

今年度は、「改めて考える家庭教育のあり方」についてや「犯罪やトラブルに巻き込まれないために身につける情報モラル」について、また、“親学”家庭教育視察研修では「絵本に出てくる料理を再現した給食」について学ばせていただきました。親と子が一緒に考え取り組むことや絵本を通して同じ時間を過ごし語り合う事など、どの研修からも親子の時間が必要であり大切だと感じました。今後もすべての子どもたちが笑顔で心身共に健やかに成長する事が出来るように、山形県の子どもたちを見守りたいと思います。

今年度も、学びの多い一年になりましたが、子どもの手本となる私たち大人はまだまだ学び続ける必要があります。情報社会の発達、人間関係の希薄化等、子育て環境は時代とともに変化していきますが、子どもたちのより良い未来のために今後も母親同士のネットワークを大切に、家庭教育力の向上に努めていきたいと思っています。

《天童・東村山地区》

- ・母親委員会総会
- ・母の集い（意見交換会）
- ・「母親委員会だより」発行

各地区の活動報告

《山形市》

- ・定例母親委員会 3回（活動方針・情報交換・研修等）
研修：「成長に必要な食事と栄養について」
講師：山口美香 氏（野菜ソムリエ上級プロ）
- ・“親学”家庭教育視察研修（遊佐小学校視察）
- ・拡大母親委員会 1回
講演：「情報モラルと情報セキュリティ教室」
講師：石田淳一 氏
（独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター普及グループ 主幹）
- ・「マザーズねっとわーく」No.22 発行

《東置賜地区》

- ・地区P代表母親委員 1名が
県P母親委員会に出席して
います。



“親学”家庭教育視察研修
杉並区立久我山小学校

《米沢市》

- ・定例母親委員会 4回
（情報交換・講演会・研修会・総会）
講演：「命の尊さ大切さ」
講師：後藤敬子 氏
（酒田市立八幡病院看護師）

《北村山地区》

- ・4月 顔合わせ会
- ・H30年3月報告会
※村山市P・大石田町P・
尾花沢市Pにおいては母
親委員会活動あり。

《上山市》

- ・母親委員会 2回
- ・研修会 1回
講演：「手洗いを見直そう」
～感染症からいのちを守る～
講師：宇野毅氏 氏
（ケミカル産業㈱ハイジエニック事業部長兼開発担当部長）

《最上地区》

- ・地区母親委員会全員研修会 1回
研修：「学力・体力・気力の向上は生活習慣の立て直しから」
～一流スポーツ選手・アスリート・東大生に学ぶ生活の法則～
講師：小澤治夫 氏（静岡産業大学経営学部経営学科教授）
- ・代表母親委員会研修及び情報交換会 2回
- ・「母親委員会だより」2月発行

《鶴岡市》

- ・母親委員会 2回（活動方針 情報交換 研修会）
講演：「今 必要な家庭教育のあり方」
講師：本間俊美 氏（県家庭教育アドバイザー）
- ・見学 荘銀外鶴岡
- ・グループ会議 3回
（活動/運営方針、研修会企画、情報交換）
- ・「母親委員会だより」発行

《酒田飽海》

- ・母親委員長等会議 2回（活動方針・情報交換・講演会）
講演：「読書で開ける子どもの未来」
講師：加藤美穂子氏
（子どもの読書サポートアシスト代表理事・絵本専門家）
- ・酒田飽海PTA研修大会への協力

《西置賜地区》

- ・定例母親委員会 1回
- ・母親委員会だより発行
- ・地区P交流会参加協力

《東田川郡》

- ・定例母親委員会 2回
*活動報告
*情報交換等

《西村山》

- ・定例母親委員会 2回（協議・研修）
研修：「操体法」で気持ちよく体のバランスを整えよう
講師：最上隆俊 氏（からだメンテナンス・エムズ院長）
- ・代表委員会 3回（企画運営）
- ・母親委員会だより発行



「親学」家庭教育視察研修 東京都杉並区立久我山小学校

平成29年 7月14日（金）

あのごちそうが献立に…“図書給食”って？

本などに登場するおいしそうな料理を学校給食として再現する、そんな夢のような現場を視察してきました。

【学校図書館・給食コラボ】～本に出てくるおいしいもの～

「食」と「本」両方への関心を高めようと、学校司書と栄養士がタッグを組んで、2年前に始まったこのコラボ。月1回～2回のペースで企画され、40回を数えるといいます。

子どもたちの反応は上々で、題材になった本は図書室で人気を集め、残菜が減ったという効果もあるとのこと。実際、休み時間の図書室では、たくさんの児童が本を手にとり、熱心に読書している姿が印象的でした。国際学校図書館協会の大会で賞を獲得したスゴ腕の学校司書と、自校給食でアレルギーを持つ子どもにも同じメニューを美味しく食べられる工夫をしている栄養士の、情熱溢れるプロフェッショナルなお二人に、我々母親委員も大いに刺激を受けました。まずは子どもたちが興味を持つことが大事、なにも特別に凝ったレシピである必要はなく、家庭でもぜひ親子で読書をして本の料理を再現してみたいかがでしょうか。子どもたちから「あの本のあのごちそうが食べたい」とリクエストが出たら最高です。

視察当日の図書給食のメニューは、なんと鶴岡市出身のつちだよしはるさんの本『げんききゅうしょくいただきます』の献立でした。

【夏野菜いっぱいラタトゥイユ・サクサクふんわりフライ
・パリッときゅうり・とろけるかぼちゃプリン】

【料理名とコラボした本の題名】

No.	料理名	コラボした本の題名
1	もやしチャーハン	だいすだまめもやし
2	じゃこサラダ	チリメンモンスターをさがせ！
3	ポークビーンズ	インガルス一家の物語
4	梅わかめごはん	うめぼしさん
5	さくらんぼ	おじいちゃんのお笛
6	冬瓜スープ	にん者とうがん太郎
7	麦ごはん・麦みそ焼き	むぎばたけ
8	柿	ざぼんじいさんのかきのき
9	フルーツのヨーグルトがけ	平野レミのサラダブック
10	ちゃんこどん	ちきゅうのななみ
11	ジャンボギョウザ	パオスになったおひなさま
12	にんじんスープ	おなべおなべにえたかな？
13	さかなスープ	ムーミン谷の冬
14	肉じゃが	美雨13歳のしあわせレシピ

鶴岡市：佐藤潤子



<感想>

お昼の校内放送で、放送委員ではなく、図書委員の子どもたちがはりきって、本日のメニューとその本の紹介をする姿を見せていただきました。お昼休みには、沢山の子どもたちが図書室に集まり、本を読んでいる姿も見られました。コラボ給食を始めてから、子どもたちの本に対する関心も高まったそうです。

実際に試食もさせていただき、絵本そのままの献立に感動しました。親子で読んだ本の中からいろいろな料理を作ってみるのも楽しいですし、親も子どももより本に関心を持てるのかなとも思います。普段見られないような、学校の様子も見せていただき、貴重な経験になりました。

酒田飽海：佐野亜古

<尾花沢小学校で「ブックランチ」を実現！>

尾花沢小学校の母親委員会の活動として、今年度は「本と給食のコラボレーション企画」を行うことにしました。初めての企画に不安と期待を交えながら、TVで見ただけの情報をもとに、全校生徒の親に「本に出ている給食に出せそうな料理」ということでメニューとレシピの募集をしました。

県P母親委員会の視察研修が「図書コラボ給食」でしたので、それを参考に多数の応募の中から集計し、名前も「ブックランチ」としました。自校給食である学校の協力を得て、9月21日に第一回目のブックランチを行いました。図書室にブックランチの本を紹介し、当日は、給食委員から献立の発表、図書委員はブックランチの説明、放送委員からは本の読み聞かせをしてもらいました。最後にちょっとしたクイズを出したりして児童たちには大好評でした。月に1～2回のペースでブックランチを行う予定です。



北村山：細矢恵美子

テーマ「いのちの尊さ大切さ」

「情報モラルと情報セキュリティ教室」 ～インターネットは善か悪か？～

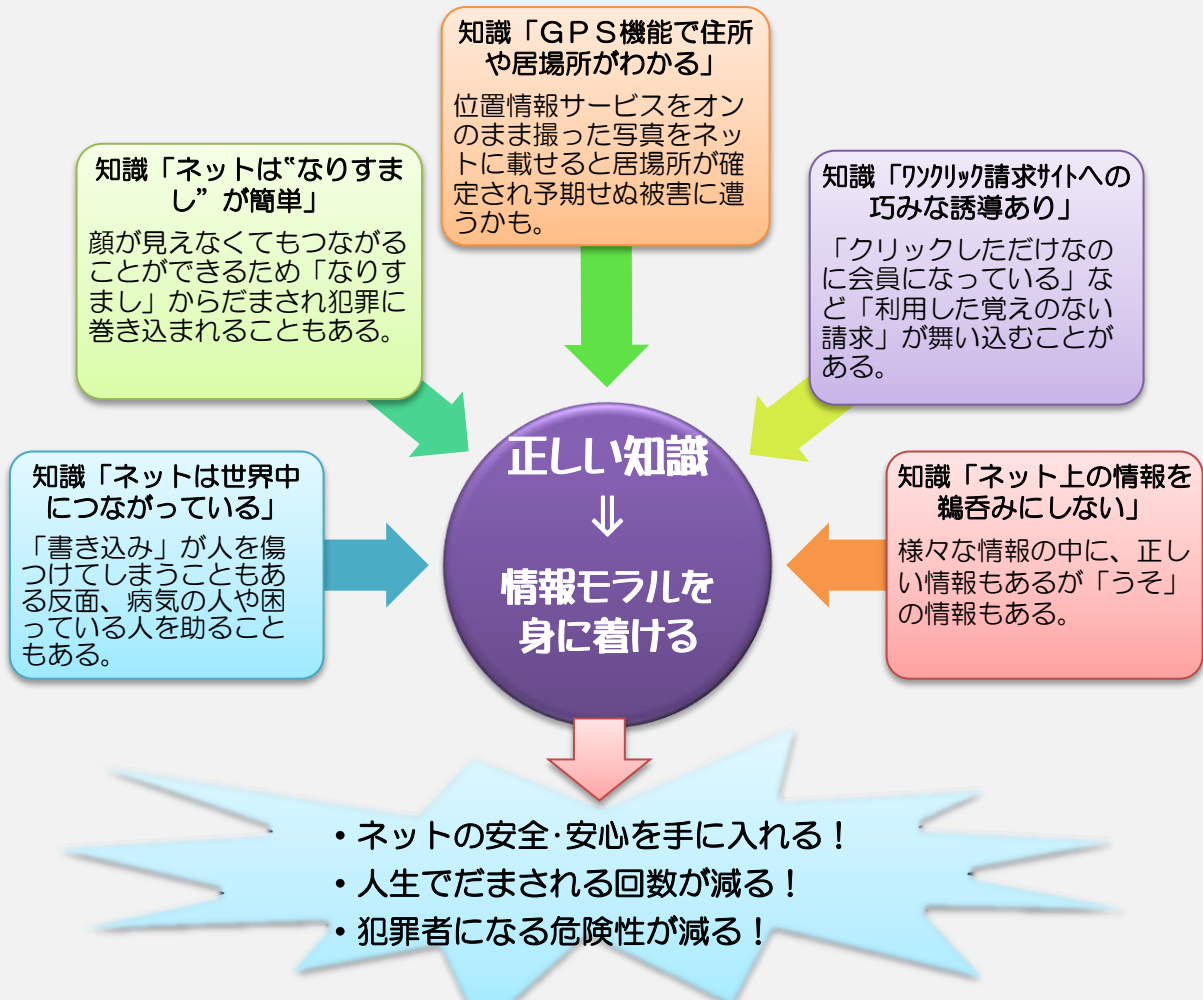


講師：石田淳一 氏

※独立行政法人情報処理
機構セキュリティセンタ
ー普及グループ主幹

平成 29 年 10 月 7 日（土）

【現状】 インターネットやSNS等の利用で、犯罪やトラブルに巻き込まれる子どもたちが増えている。



インターネットと安全・安心な生活のために

- ⇒ 本当に困ったときは、信用できる人に相談！
- ⇒ 日頃から親子の会話を大切に！

インターネット・SNS
どんなに便利なものでも使う人次第で
善にも悪にもなる

西村山：笹島智子

手軽で便利に使えるインターネットですが、間違った使い方で犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが後をたちません。子どもたちをネット犯罪から守るには、親がインターネットの使い方・ルールをしっかりと教えることが必要です。子どもが幼い頃、親が自転車の乗り方を教えた様に、インターネットの使い方を順に教え、危険なことがあることもしっかりと教えないといけないと思いました。

SNSを使用する場合は、常に危険と隣り合わせだということを認識した上で「自分の位置情報を公開しない」「パスワードは乗っ取られないようなものにする」など、賢くネットを利用しなければいけないと教わりました。

西置賜：遠藤奈津子

「今 必要な家庭教育のあり方」～しくじり先生の絵本子育てアドバイス～

講師：本間俊美 氏（県家庭教育アドバイザー）

平成29年5月27日（土）山形まなび館

《そもそも家庭教育とは何か》

保護者の役割は法律に明確に書いてあります。多様な価値観の時代だからこそ、原点に還り「人間としての根」を育てていきましょう。もしも子育てでピンチに陥ったら、ピンチはチャンスです。

《家庭における読書の楽しみ方》

- ・豊かな環境で暮らせば少しずつ意欲がわくでしょう。
- ・…環境はきっかけ 家中至る所に本を置く
- ・楽しさに気づくチャンスがあれば前向きになるでしょう。
- ・…強制しない強制 親が読む姿は自然で美しい強制
- ・時間を気にしない読み方をすれば自然体で読める。
- ・…すきま時間活用 ながら読み、タイトルだけ読み 等々



“根” その1【基本的生活習慣】

乳幼児：食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱
挨拶・礼儀・我慢・意思表示
児童生徒：挨拶・時間厳守・食事・計画立案実行・
整理整頓・清掃・ボランティア
ルール厳守

“根” その2【家庭という安心基地】

- ☆どこまでも信頼しきる
- ☆いつでも飛び立ち、一時帰還できる

ピンチはチャンス！その言葉に目からうろこでした・・・。

ピンチに陥った時に、子ども自身が「自分が何をしたいのか」「何ならでできるのか」を子どもたちに考えさせ親も一緒に考え、少しだけアドバイスをして・・・。

先生の体験談を交えたお話から子育ての大きなヒントをいただきました。ぜひ多くの方に聞いてほしいお話でした。

最上地区：東村貴恵

先生ご自身の子育て経験談等も織り交ぜながらのお話を聞かせていただき、共感できる点、学ぶべき点、いろいろと考えさせられました。家庭での子どもとの会話や、接し方ひとつで成長過程に与える影響があるということ、「ありがとう」は心を形にしたあいさつのすべてであり、感謝＝「ありがとう」は、意識して伝えることなど、何気なく生活している中でも子どもたちに伝えられることがあるということ、改めて考える機会となりました。

絵本への考え方も自分自身変わりました。絵本は子どもの本と思っていましたが、子どもには子どもの楽しみ方が、大人には大人の楽しみ方がある、という考え方に初めて気づくことができました。日頃から本に接することができるように、手の届くところに置いておくことや、忙しい時でも題名を読むだけで読書になるということにも気づくことができました。今回の研修でこれからの生活を今一度見つめ直すきっかけになりました。

東田川郡：信夫幸



第65回 日本PTA全国研究大会 仙台大会

平成29年8月25日（金）～26日（土）

・・・仙台大会に参加して・・・

全体会記念講演では、宮城県にゆかりのあるウエトリフティングのオリンピックメダリスト・三宅宏美さんとお父様の三宅義行さんが、親子そろってオリンピックへの挑戦と、家族の絆の大切さについて語られました。

お二人は選手とコーチという関係、娘と父という関係それぞれがいつも上手いかわかなくてもお互いを大切に思いやる気持ちが長い競技生活を支えているように感じました。親子の絆・PTAの絆を感じる貴重な大会となりました。

米沢市：安部昌枝

第2分科会 「健やかな脳発達のために」

～賢い子に育てる究極のコツ～ 瀧 靖之 氏

先生は、テレビなどでも見かける有名な方です。子どもの頃の様々な体験は脳の発達に大きく作用します。例えば、魚に興味を持ったなら図鑑を買って与えるより、水族館に連れて行き実体験が大事という内容でした。大人になってからでも、子どもよりは覚えは悪くとも、色々なことに挑戦することで脳に良い影響を与えるという話が印象的でした。

勉強が出来ることも大事ですが、その学びを生活に生かせる人間を目指したいです。

東置賜：川崎優子

編集委員

山形市：堀田理恵／上山市：佐竹直子

天童・東村山：黒田純子

あとがき

「いのちの尊さ大切さ」のテーマのもと、母親として子どもたちの将来の姿を思いやり、生きる力を育てていけるようお願いを込めた活動・学びの場でした。子どもたちの心身の健やかな成長を祈る気持ちを共有できた素敵な1年間、ありがとうございました。

上山市：佐竹直子